

交流サイト「グーグル+」に地域情報を投稿して順位を決める予選で、スタッフさんは金沢弁を駆使し、兼六園を「めつちや綺麗ねんよ」、和倉温泉を「お風呂だけじゃなくて、周辺でスイーツめぐりとかできるげんよ」とアピールした。スタッフさんは、北海道大や東北学院大、関西大、熊本県立大など全国

スタッフさんは、米国人の父と日本人の母を持つハーフ。家族との会話は主に英語だが、幼いころから内灘町で育ち、友人との会話で使う金沢弁は気楽で親しみやすく、愛着があるという。



兼六園
綺麗ねんよ

都道府県対抗学生アワード

10大学が出場する決勝戦に参加し、金沢弁で石川の観光の魅力を発表する。今後は観光アワード親善大使としても活動する予定で、「観光スポーツだけでなく、石川の人との優しさも伝えたい」と意気込んでいる。

都道府県対抗学生観光PRアワードは、全国のミスキャンパスコンテスト関係者でつくる実行委

A large, friendly-looking green robot with a smiling face and white gloves stands on a sidewalk. A woman in a yellow jacket and a child are looking at it. In the background, there's a building with a tiled roof and some trees.

和倉温泉を探訪するスタッフ・アン
ジェリーナ・由紀子さん(右手前)

方言で呼び掛け

全国のミスキャンパスらが方言で地元の魅力を発信する「第1回都道府県対抗学生観光PRアワード」の予選で、金大が8位に入賞し、23日に千葉市で行われる決勝戦への進出を決めた。代表を務めるのは医薬保健学域のミスに選ばれたスタッフ・アンジエリーナ・由紀子さん(20)――薬学類3年―。インターネットの交流サイトで兼六園や和倉温泉を紹介し「見に来まつし」と呼び掛けている。